

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

(報告)

お茶の水女子大学
 一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会
 J300 実行委員会 (女性社長.net)

【開催趣旨・目的】 WEPs(女性のエンパワーメント原則)の第5・6原則の実現に向けて

国連の UNWOMEN とグローバルコンパクトが作成した WEPs(女性のエンパワーメント原則)の第五・第六原則の促進を図るイベント。7原則で構成される WEPs。署名企業は各原則の遂行に尽くしているが、「ステークホルダーや地域との参画」を謳った第5原則、第6原則は、各社内で実施される管理職の登用促進や教育・研修機会の提供などの取組とは異なり、その活動方法や取組の在り方が模索されている。日本における WEPs の展開を考える際、第5、第6原則の活動方法を検討することは極めて重要であり、それは、WEPs の特徴が「職場だけでなく市場、地域とともに取り組む」ということにあること、さらには、男女共同参画社会の創造と深く関係している。

こうした現状に鑑み、本事業では、第5原則のうち「女性の経営者や起業家との取引の発展、取引先や同業者の関与」、第6原則のうち「ステークホルダーや当局、その他の機関との協働促進」にフォーカスし、お茶の水女子大学、一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会、J300 実行委員会((株)コラボラボ、ジャパンポート LLP)、日本ニュービジネス協議会連合会等が協力し、女性起業家と学生、中小企業、WEPs 署名企業による女性のエンパワーメント促進事業を実施する。

また、本事業は以下の目的と成果が期待される。

- ① WEPs 署名企業や女性のエンパワーメントに関心がある一般の方々や女性起業家との間に接点を生み出すことで、男女共同参画社会の創造と理解を深める機会となる。
- ② 女子学生にとって、女性起業家たちはロールモデルのひとつになる。また、女性起業家の業務を紹介するプレゼンテーションを通じて、WEPs や女性起業家の業務に深い理解が得られる。
- ③ 女性起業家の業務内容を広く社会に発信し、取引機会を創出する。

WEPs 第5、6原則への取組の好事例を発信する。

【シンポジウム等の名称・テーマ】

「企業×女性起業家×学生の出会いの場の創出

－ WEPs(女性のエンパワーメント原則)の実現に向けて －

【日時】 平成 26 年 1 月 22 日(水) 13:00～16:00

【場所】 渋谷ヒカリエ 8/COURT (東京都渋谷区渋谷 2-21-1)

【参加者数】 計 300 名(内訳:女性起業家 100 名、一般企業 75 名、大学生 20 名、一般市民 105 名)

【プログラム】

■女性起業家の取組紹介10社によるブース展示

女性起業家とともに女子学生がプレゼンテーション。参加学生はイベント前3か月、お茶の水女子大学における WEPs 理解の授業と女性起業家のもとで事前にインターンを体験。

■ トークセッション「女性起業家と取引企業のトーク」 先進事例の共有

- プレゼンテーション 9社の大企業からいただいた事前課題に対し女性起業家41社がプレゼン
- ワークショップ「女性起業家と取引候補企業でマッチングアイデアをディスカッション」
- クロージングセッション 企業からのオファー発表

【参加者からの主な意見】

＜参加した大企業＞

本イベントを機に、女性起業家を知ることができた／女性起業家たちのアイデア出しの早さと熱意に驚いた／日頃検討している課題に対し、異なる角度からの提案がなされ是非検討をしたい

＜女性起業家＞

通常プレゼンテーションする機会が少ない企業に出会うチャンスとなった／学生たちのサポートがしっかりしており非常に新鮮だった／今回のイベントを機に大企業との取引の道があることを意識することができた

＜学生＞

女性起業家のもとでのインターンは貴重な経験、女性起業家の実情を垣間見ることができた。

300名を超える参加者で会場が一時混み合う結果に。会場の再検討や、プログラム時間においてはプレゼンの時間をもっと長めにしてほしいなど今後の改善点のご意見も多数いただいた形となりました。

【シンポジウム等を通して得た成果（効果）】

- 300名を超える来場者。女性起業家の取組を広く知ってもらうきっかけづくりとなった
- 第五原則の促進に向けた具体的な成果につながった→企業との商談成立が約6件、後日検討したいが約30%12プラン。
- 企業、女性起業家双方に取引イメージをもっともうことができた。
 - ・ワークショップには大企業ふくむ60社が参加。10分で150を超えるアイデアが生まれ女性起業家と大企業のコラボレーションについて考えるきっかけとなった。
 - ・トークセッションでは、先進事例を共有
- 女子学生に、女性起業家のもとでインターンを行うことでキャリアの選択肢を増やし、企業にプレゼンするスキルアップの機会になった。
 - ・3か月前より、お茶の水女子大学などの学生が担当企業のもとでインターンを経験。事業の理解を重ね、ブースの展示方法やプレゼンPR方法について練ることでスキルアップにつながった。
 - 学生にとって起業家と接し、大企業に対してプレゼンテーションを行う貴重な機会となった。
- ・WEPs第6原則である「ステークホルダーや地域との参画」を企業と女性企業家のマッチングを行うことで推進することができた。

【今後の課題】

- ・参加者満足度のより向上をはかる：プレゼン時間が短いという声、人が混雑していて声が聞き取りづらいなどの声もあった。
- ・アンケートの回収：プログラムが多岐にわたり複雑だったため、アンケートの回収がしにくかった。後日ヒアリングで成果共有は行っているが、当日アンケートの回収率を高めたい。